

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門	経絡経穴概論2	講義	4	80	東洋医学概論、解剖学
学科・学年	担当教員名	科目関連 実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
鍼灸学科 2学年	久保田 明美	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	臨床での疾患鑑別には、当該科目で学ぶ知識は不可欠なものとなる。		
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
<b>【教育目標】</b> 経脈・経穴・奇穴の位置関係、解剖学的な特徴、東洋医学的な位置づけ、現代医学的な研究内容について学ぶ。履修範囲は以下の通りである。 足太陽経、足少陰経、手厥陰経、手少陽経・足少陽経・足厥陰経の取穴部位や流注、正経の解剖学的特徴、奇経八脈、奇穴、東洋医学的な要穴分類や経穴の性質(穴性)に全てのまとめと復習を行い、さらに総復習として国家試験に対応できる学力向上を目標とする。					
<b>【行動目標】</b> ①本科目履修範囲内から作成された国家試験相当の難易度の多肢選択問題を正答率60%以上で解答できる。 ②経脈・経穴・奇穴・奇形八脈・現代医学的考えを理解した上で、実技授業・臨床における触診や取穴ができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
この科目の知識は、取穴、刺鍼、施灸の実践的な基礎であり、はりきゅう実技4・5などの実技・臨床科目にも関連する。また、試験対策には、国家試験の過去問題を解き、理解度を確認しながら、各自積極的に学習を進めてほしい。					
教科書・参考書					
主題として取り扱う教科書は、東洋療法学校協会編「経絡経穴概論」 参考として扱うのは東洋療法学校協会編「東洋医学概論」「解剖学」 更に本科目を理解する基礎知識として「解剖学」「生理学」の予習が役に立つ。 その他、学習に役立つ書籍等がある場合は都度紹介する。					
受講時留意点、その他					
<b>【 全科目受講時共通事項 】</b> ※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照 ●病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ●授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ●授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ●授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ●当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 ※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。 いったん配布した資料の再配布は、資源節約の観点から原則として行いません。なお、これに伴い配布した資料の控えと欠席者分の未配布資料については、当該年度内に限り職員室で保管いたします。授業中に受け取れなかった場合は担任もしくは授業担当者に授業時間外に相談して下さい。紛失等で再配布を希望する場合は、控えを貸出しますので当日中に自己負担で複製下さい。					
<b>【 受講科目受講時留意点 】</b> ●授業中の私語は他生徒への授業妨害になり得ることを自覚して慎んでください。 ●授業内容への質問は進行や他の学生との兼ね合いの都合上やむを得ず時間外に受付とさせていただきます。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	定期試験を前期と後期の最低2回実施。難易度は国家試験相当として、合格基準を正答率60%以上とする。問題形式は4者択一の他に、必要に応じて他の形式も出題することもある。			
その他		追加で成績加算対象となる課題や試験を実施する場合は都度事前に告知する。(小テストおよび提出物(定期本試験のみ加点の加算))			
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		授業の進め方 試験について 東臨1総論2治療穴とその応用 治療部位、治療目的と部位、治療穴の主治と効能、 配穴方法 019-037(19)		/	久保田
2		東臨1総論2治療穴とその応用 治療部位、治療目的と部位、治療穴の主治と効能、 配穴方法 019-037(19)		/	久保田
3		東臨1総論2治療穴とその応用 治療部位、治療目的と部位、治療穴の主治と効能、 配穴方法 019-037(19)		/	久保田
4		東臨1総論3手技と手法 治療手法 039-051(13)		/	久保田
5		東臨1総論3手技と手法 治療手法 039-051(13)		/	久保田
6		東臨1総論3手技と手法 治療手法 039-051(13)		/	久保田
7		小テスト(膀胱経) 睛明から下髎まで 足太陽膀胱経① 学習のポイント、流注、部位等		/	久保田
8		小テスト(膀胱経) 会陽から至陰まで 足太陽膀胱経②		/	久保田
9		足少陰腎経① 学習のポイント、流注、部位等		/	久保田
10		小テスト(腎経) 手厥陰心包経① 学習のポイント、流注、部位等		/	久保田

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		<b>小テスト(心包経)</b> 手少陽三焦経① 学習のポイント、流注、部位等		/	久保田
12		手少陽三焦経② 学習のポイント、流注、部位等		/	久保田
13		<b>小テスト(三焦経)</b> 足少陽胆経① 学習のポイント、流注、部位等		/	久保田
14		足少陽胆経②		/	久保田
15		<b>小テスト(胆経)</b> 足厥陰肝経① 学習のポイント、流注、部位等		/	久保田
16		足厥陰肝経②		/	久保田
17		<b>小テスト(肝経)</b> 1年次の復習 第1章 経絡・経穴の基礎 ①		/	久保田
18		1年次の復習 経絡・経穴の基礎 ②		/	久保田
19		1年次の復習 経絡・経穴の基礎 ③		/	久保田
20		まとめ		/	久保田
前期試験(授業外実施)					

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
21		1年次の復習 経絡・経穴の基礎 ④		/	久保田
22		1年次の復習 正経十二正経 流注①		/	久保田
23		1年次の復習 正経十二正経 流注②		/	久保田
24		1年次の復習 奇経八脈 流注 宗穴 郄穴①		/	久保田
25		1年次の復習 奇経八脈 流注 宗穴 郄穴②		/	久保田
26		1年次の復習 経穴の取り方に必要な用語		/	久保田
27		1年次の復習 督脈		/	久保田
28		1年次の復習 任脈		/	久保田
29		1年次の復習 手太陰肺経		/	久保田
30		1年次の復習 手陽明大腸経		/	久保田

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
31		1年次の復習 足陽明胃経		/	久保田
32		1年次の復習 足太陰脾経		/	久保田
33		1年次の復習 手少陰心経		/	久保田
34		1年次の復習 手太陽小腸経		/	久保田
35		経絡・経穴の現代的研究		/	久保田
36		経穴と解剖学特徴①		/	久保田
37		経穴と解剖学特徴②		/	久保田
38		まとめ		/	久保田
39		まとめ		/	久保田
40		まとめ		/	久保田
後期試験(授業外実施)					